

萩の近代化産業遺産 フォトコンテスト2010



萩市では、世界遺産登録を目指している「九州・山口の近代化産業遺産群」の構成資産となっている萩の近代化産業遺産を広くPRするため、写真作品を募集します。なお、作品は各種イベントでの展示、パンフレットでの利用など、萩市の紹介や宣伝に活用します。

○題材

萩反射炉、恵美須ヶ鼻造船所跡（裏面に題材の解説を載せています）

○募集期間

平成22年5月初旬～12月31日（金）（必着）

○応募規定

- ① 題材を撮影した写真で、作品は自作未発表のものに限ります。応募資格は問いません。また、応募点数は1人2点までとします。
- ② 作品は四つ切、四つ切ワイド又はA4サイズで、カラープリントしたものに限りません。また、合成や事実を変えるような加工を加えたものは不可とします。
※作品に人物が写っている場合は、その方の承諾を得た上でご応募ください。主催者は肖像権侵害等の責任は負いません。
- ③ 作品の裏面に応募票を添付して、郵送又は持参してください。また作品は返却しません。
※コンテストを通じて入手した個人情報、作品の発表、審査結果の通知などに使用します。
- ④ 作品の著作権は撮影者に帰属し、作品の使用権は萩市に帰属します。入賞者は主催者が別途連絡した期日までにネガ、ポジ又はJPEGデータを記録したCD-Rを提出してください。

○賞・表彰

平成23年3月末日までに審査を行い、入賞作品を決定します。

萩市長賞 1点（賞金5万円）

萩産業遺産賞 2点（賞金3万円）

入選 10点（賞金1万円）

作品は、平成23年4月以降に萩博物館等において展示・表彰します。

○応募・問い合わせ先

〒758-8555 山口県萩市江向510

萩市世界遺産推進課フォトコンテスト係

TEL 0838-25-3380 FAX 0838-25-4011

----- きりとり線 -----

応募票

フリガナ タイトル		撮影 年月	
フリガナ 氏名		年齢	
住所	〒 TEL FAX e-mail		

世界遺産登録を目指している萩の産業遺産

萩反射炉 (国指定史跡)



自力による大砲鑄造の近代化を試みた証し(あかし)

反射炉は鉄製の洋式大砲の鑄造(ちゅうぞう)に必要な金属溶解炉です。萩藩は1855(安政2)年、反射炉の操業に成功していた佐賀藩に藩士を派遣し鉄製大砲の鑄造法伝授を申し入れますが、拒絶され、反射炉のスケッチのみを許されます。現在残っている遺構は煙突にあたる部分で、高さ11mの玄武岩積み(上方一部レガ積み)です。オランダの原書によると、反射炉の高さは16mですから約7割程度の規模しかありません。また萩藩の記録で確認できるのは、1856(安政3)年の一時期に試験炉が操業されたということだけであることから、萩反射炉はこのスケッチをもとに設計・築造された試験炉であると考えられています。国内で現存する反射炉は萩と葦山の2ヵ所だけです。

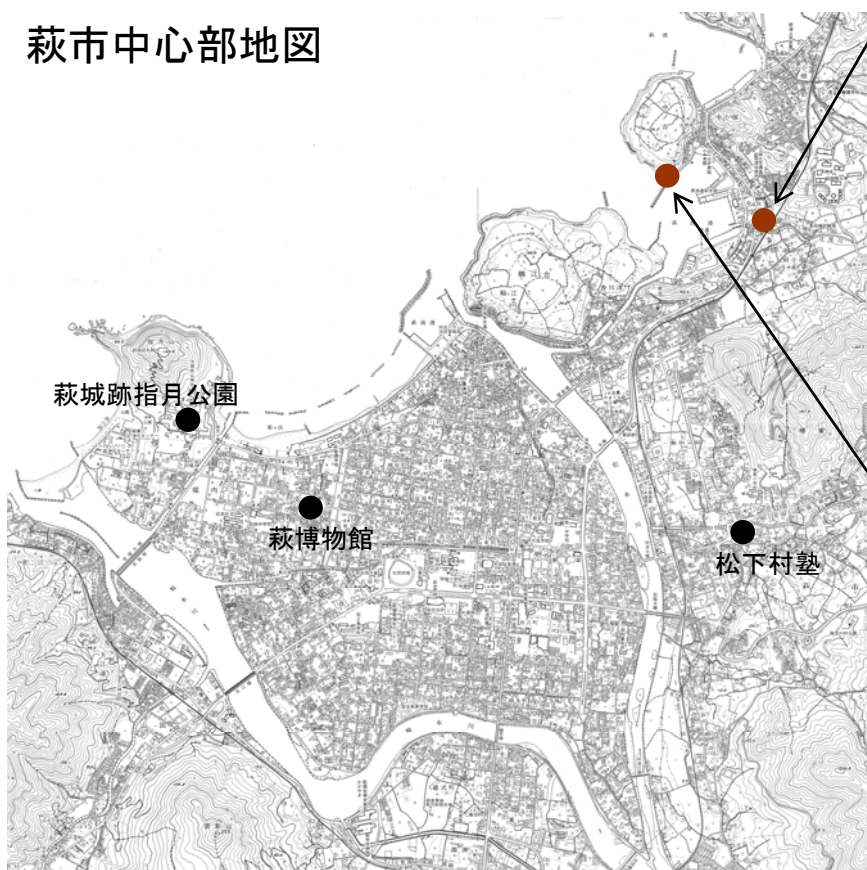
恵美須ヶ鼻(えびすがはな)造船所跡



洋式軍艦の建造に先駆的な役割を果たした造船所

1853(嘉永6)年、幕府は萩藩に対して大船の建造を要請しました。1856(安政3)年、萩藩は洋式造船技術と運転技術習得のため、幕府が西洋式帆船の君沢型(スクナー船)を製造した伊豆戸田村(へだむら)に船大工棟梁(とうりょう)の尾崎小右衛門(おぎきこえもん)を派遣します。尾崎は戸田村でスクナー船建造にあたった高崎伝蔵らとともに萩に帰り、近海を視察、小畑浦の恵美須ヶ鼻(えびすがはな)に軍艦製造所を建設することを決定しました。同年12月には萩藩最初の洋式軍艦「丙辰丸(へいしんまる)」(スクナー船)が、また1860(万延元)年には2隻目の洋式軍艦「庚申丸(こうしんまる)」が進水します。丙辰丸建造には、大板山たたら鉄が使用されたことが確認されています。当時の規模の大きな防波堤が残っています。

萩市中心部地図



萩反射炉

所在地

萩市大字椿東4897-7

アクセス

萩市から島根県に走る国道191号沿い右側

萩循環まあーるバス(東回りコース(松陰先生))萩しーまーと下車徒歩3分

駐車場

バス4台、乗用車10台

恵美須ヶ鼻造船所跡

所在地

萩市大字椿東5168番地地先

アクセス

萩市から島根県に走る国道191号沿い右側の萩反射炉を通過して、最初のバス停留所(漁港入口)を左に曲り、すぐ右に曲った突き当たり

萩循環まあーるバス(東回りコース(松陰先生))萩しーまーと下車徒歩5分